

名古屋女子大学

April 2005

第45号

学術情報センターだより

Library and Science Information Center, Nagoya Women's University

プロダクティブ・エイジング時代の学術情報センター

Yoshiaki Mitani

三谷 嘉明
(家政学部長)

日本の高齢社会は確実に未知の超高齢社会へと進行しつつあり、高齢に伴う身体的衰退による医療・看護のニーズの高まり、年金・社会福祉等の過重負担による社会の活力の低下にあわせて、少子化の加速が社会不安を一層強め、悲観論を支配的にしている。この予測は一面の事実であるが、高齢者に対する固定観念や偏見によるところも考えられる。高齢者は本当に社会の活力を低下させるだけの存在であろうか？ ロバート・バトラー（『プロダクティブ・エイジング—高齢者は未来を切り開く—』、岡本祐三訳、日本評論社、1998 汐路所蔵：請求記号367-1490）は十数年前、プロダクティブ・エイジングという概念を提起した。従来のプロダクティブ（生産性）とは物的な生産、商品の産出を中心とする概念であったが、精神的な生産、ボランティアや地域における相談活動、その他もろもろの活動性をもプロダクティブとみなし、その概念をさらに拡大した。これによって高齢者は非プロダクティブな存在からプロダクティブな存在へと発想の転換がもたらされた。この概念によって高齢者は周囲の人々からプロダクティブとみなされ、自尊心と自信を高め、存在意義を確認し、新たな可能性に挑戦する気力が起こり、エンパワメントすることになる。高齢社会の構築には高齢者自身も積極的に参加する以上に、パイオニアであることを期待されるまでになってきた。

確かに高齢者は進行性の、身体の全体的な各種生理学的機能や精神的・肉体的・行動的・生物学的能力の低下・悪化を招くと同時に、戦略眼、判断能力、思慮

深さ、英知、鑑賞力、人生経験といった分野での総合的な社会心理的成長のあることも次第に明らかにされてきている。高齢期はある意味で真実の自己を直視し、本当の人生を生きることが他の時期に比べ比較的が可能である。これまでの青年・壮年の生産性、価値観、生き方が中心であることから高齢期のそれらに固有の存在意義と尊重による共生がこれからの社会に不可欠である。高齢者が充実した高齢期を生きることが豊かで深い人生への可能性を拡大し、青年や壮年への模範や激励ともなる。

医療・看護・福祉を不可欠とする高齢者もいる一方で、元気な高齢者が多い事実をわれわれは認識すべきであろう。知的好奇心や興味のおもむくままに事物を探究する高齢者が急激に増加している今日、本学の学術情報センターの新たな役割はなんであろうか。当センターは卒業生、オープンカレッジの受講者に開放されていると聞くが、市民にも全面的に開放されたらどうであろうか。特に意欲に溢れ、知的好奇心の旺盛な中・高齢者の積極的なセンター利用は在学生に多くの刺激をもたらし、生き方のモデルを提示する機会ともなる。かつての学舎での中・高齢者の学びは第二の青春を生きるとともに、在学生や教職員によき刺激をもたらすにちがいない。

本学の創設者越原春子先生は校訓「親切」の意味を、女性の経済的自立、高い教養を身に纏った職能人、そのための服飾文化、栄養科学を学問としても人類文化向上のため未踏の境を「不撓の努力」でめざし、たえず楽しい学問の園とするとしている。究極には「親切」を広義におけるヒューマニティであり、狭義の友愛であり、学問への研鑽である、とされている（『創立者のことば』名古屋女子大学学報 第2号 昭和41年12月25日）。常に新しい時代の先駆たれとの高邁な理想はともすれば目標喪失の現代にこそますますその輝きをまわしてきている。

その意味においても当センターは世代や男女を超えて集う人々に学問の研鑽、個性の探求、自己実現、共生の「場所」の提供はもちろん、それ以上の何かの提供の可能性を専門的立場からたえずご検討を願ってやまない。

◎ 目 次 ◎

プロダクティブ・エイジング時代の学術情報センター	1
アンケート結果を受けてサービスを改善しました！	2・3
コンピュータ共同利用演習室とパソコン相談室	4
個人認証について	5
E-Learningシステム（WebCT）の利用について	6
新学科開設に伴い、福祉・保育関係の資料が充実しました	7
ライブラリー館内でのノートパソコン貸出利用状況	7
お知らせ	8



アンケート結果を受けてサービスを改善しました!



学術情報センターではサービス改善のために、「名古屋女子大学学術情報センターアンケート」を平成16年10月18日から11月5日にかけて行い、コンピュータ共同利用演習室（以下、演習室）、パソコン相談室、ライブラリーについて、学生の皆さんのご意見をうかがいました。そこで、その結果を受けて改善したサービスと、アンケートに具体的に記入していただいた要望をご紹介します。

1 サービスの改善点

1. CADとEXCEL栄養君を追加導入 <演習室・パソコン相談室>

導入希望ソフトのなかで、要望が多かった「CAD」と「EXCEL栄養君」ができるパソコンが増えました。詳しい内容はシステムサービスのホームページ (<http://www.nagoya-wu.ac.jp/isc/>) に一覧がありますのでご覧ください。

2. 多言語に対応した端末を増設 <ライブラリー>

ライブラリーではパソコンを増やしてほしいという要望にお答えして、新たに汐路のメディアコーナーと天白の情報コーナーにパソコンを常設しました。手続きは不要ですので、気軽に利用してください。このパソコンは現在、館内で貸出をしているノートパソコンと同じようにWord、Excel、PowerPoint、Access、AL-Mailが利用できる以外に、多言語支援の様々な機能を備えています。各言語の表示・入力ができ、電子辞書や、各言語のスペルチェックなどが可能な多言語版Officeを装備しています。また、画面表示そのものを海外仕様に切り替えることもできます。媒体・言語を問わない、まさに“マルチメディア”な端末として、ぜひ活用してください。

3. トラブルの対応 <演習室・パソコン相談室>

演習室、コンピュータ自習室（以下、自習室）でのトラブルは、パソコン相談室で対応しています。何かトラブルが起きた時には、教室内に常設してある内線電話でも連絡できますので、すぐに相談窓口にご一報ください。パソコン相談室では機器のトラブル以外に様々な質問も受け付けています。受付時間に注意して、気軽に利用してください。（本紙の記事にサービス内容をご紹介しますので、そちらも参考にしてください。）

4. 資料を充実 <ライブラリー>

授業、レポート等で利用する資料については、「教科を担当する先生から推薦を受けた本」の充実を図りました。教科担当者選定図書として、ライブラリーサービスのホームページ上で紹介しています。また、シラバスに載っている参考図書も本年度から取り揃えて、同様にホームページで公開していますので、ぜひ活用してください。

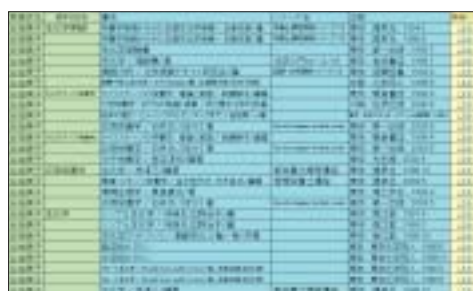


ホームページ

(<http://libweb.nagoya-wu.ac.jp>)



教科担当者選定図書入り口



選定図書一覧



また、皆さんの声を受けて、管理栄養士国家試験の過去の問題やベストセラーなどを購入しました。これらの新しく購入した資料は、分かりやすいように掲示板でお知らせすることになりました。これからも買ってほしい資料がありましたら、閲覧室に設置してある購入希望図書申込書に記入してリクエストボックスへ申込んでください（設置場所 汐路：カウンター前 天白：情報コーナー前）。ホームページ上にある図書購入依頼を利用すると、演習室や自宅からでも申込みができますので、併せて利用してください。



購入希望図書申込書



リクエストボックス



新着図書案内の掲示板

設置場所 汐路：カウンター前
 天白：情報コーナー前

5. 貸出期間を延長 <ライブラリー>

皆様のご意見をもとに、1週間の貸出期間を2週間に変更しました。継続は今までどおり1週間です。また、長期貸出後の一斉返却日と試験前の最終返却日も、貸出をすることになりました。

6. サービス時間の延長・拡大 <ライブラリー、演習室・パソコン相談室>

ライブラリーでは、平日の開館時間を汐路・天白共に8:30-21:00まで延長することになりました。演習室・パソコン相談室では、汐路・天白共に利用時間を平日は8:50-21:00、土曜日は9:00-17:00に延長することになりました。

2 アンケート調査ではこんな要望が寄せられました

演習室・パソコン相談室へ

利用時間の延長・拡大、次いで特定のソフトの追加導入と汐路・天白共に自習室とパソコンの増加と続いています。また、インク切れや紙詰まりなどのプリンタートラブルの対応についても要望が寄せられました。(図1)

ライブラリーへ

資料の充実に対する要望が159件と突出しており、次いで開館時間の延長・開館日の拡大、貸出期間の延長と続いています。(図2)

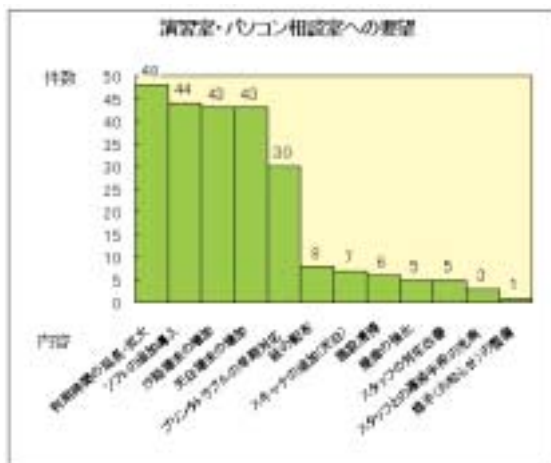


図1

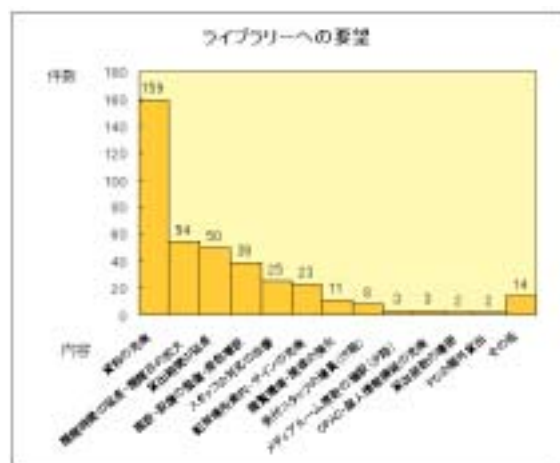


図2

3 アンケート調査の回収率について

汐路・天白キャンパスの食堂、教室、演習室、自習室、ライブラリーなどで、学生の皆さんに直接アンケート用紙を配布してご協力をお願いし、回答を回収箱に入れていただきました。回収率は表のとおりです。ご協力ありがとうございました。

回収率

	配布(枚)	回収(枚)	回収率
汐路	1422	424	30%
天白	734	247	34%
合計	2156	671	31%



コンピュータ共同利用演習室とパソコン相談室



コンピュータ共同利用演習室

コンピュータを使った情報教育や自習の場として、汐路は南2号館の1～3階と中央館4階（南2号館と中央館の入口は共通です）、天白は2号館の4階に、演習室と自習室があります。利用時間や導入ソフト一覧などの詳細は、学術情報センターシステムサービスのホームページをご覧ください。

システムサービスホームページのURL : <http://www.nagoya-wu.ac.jp/isc/> (学内のみ)



飲食厳禁

演習室・自習室のPCは共有機器です。飲食等の原因で故障した場合、大勢の人に迷惑がかかります。マナーを守りましょう。



諦めないで

授業などで塞がっていた場合は、演習時間割で空き部屋を確認しましょう。時間割はホームページのほか、掲示板(※)と各演習室・自習室の入口に貼ってあります。

注※掲示板の場所は、汐路：南2号館1階、天白：食堂付近

パソコン相談室 (サービス時間：月～金8：50～17：20 (汐路・天白共通))

コンピュータ環境の支援窓口として、汐路は中央館3階、天白は2号館4階にパソコン相談室があります。サービス内容は

演習室のコンピュータ機器の使い方やトラブル対応
個人認証のパスワード再発行

研究室のネットワーク設定に関する相談
デジカメの貸出

などです。どうぞご利用ください。



汐路



天白

パソコン相談室時間外窓口

(サービス時間：月～金 17：00～21：00

：土 9：00～17：00 (汐路・天白共通))

17時以降は時間外窓口を設けています。時間外窓口では、スタッフが演習室に常駐し、皆さんの演習室利用をサポートしています。常駐場所は、汐路は南2号館103演習室、天白は2号館425演習室です。気軽に声をかけてください。



トラブル放置厳禁

演習室・自習室のプリンターで、紙が詰まったりインクが切れたりした場合は、放置せずパソコン相談室(時間外窓口)に声を掛けてください。放置すると次に使う人に迷惑がかかります。

個人認証について

1 はじめに

本学では、平成16年4月よりコンピュータ演習室ならびにライブラリーでの検索端末、貸出ノートパソコン使用時に個人認証を導入しました。

在学生のみなさんは既に利用していることと思います。ここでは新入生向けに個人認証について説明します。在学生のみなさんも再度、個人認証について認識を深めてもらえれば幸いです。

2 個人認証とは

個人認証とはコンピュータを利用する個人を識別するためのものです。

なぜ個人を識別する必要があるのでしょうか。個人認証を導入する目的には次のようなものがあげられます。

- 自分の作成したデータを他人から守る。
- 自分宛のメールを読む。
- 不正アクセス時などトラブル発生時に追跡する。

一つ目、自分の作成したデータを他人から守る。これはロッカーに鍵を掛けるのと同じことです。自分がパソコンで作成した文書や画像などのデータは、他人が勝手に触れないようにするということです。

二つ目、自分宛のメールを読む。これも一つ目と目的は同じです。コンピュータでメールを読むには、携帯電話と違ってパスワードが必要になります。そのパスワードを知らない人、つまり他人は自分宛のメールを読むことは出来ません。

三つ目、不正アクセス時に追跡する。これは最近急増したネット犯罪などに対応するものです。大学などの教育研究機関や通信事業者には、ログ（通信記録）を残すことが義務づけられています。これはネット犯罪などが起きたときに、何が起きたかを追跡して調査することを目的としています。

ここで誤解をしないでください。日常から誰が何をしているか監視しているわけではありません。ネット犯罪に巻き込まれたり、他人を誹謗中傷するなど他人の権利を侵害されたりしたときに調べるのであって、何もなければ何も調べることはありませんので、安心して使ってください。

3 身近な個人認証 - ログオン

ここまで難しいことを述べてきましたが、個人認証は難しいものではありません。もっと身近に普段から触れる機会があります。それがログオンと言われる行為です。コンピュータを使うときに必ずこのログオンという操作を行わなければいけません。すべてはここから始まります。(図1参照)

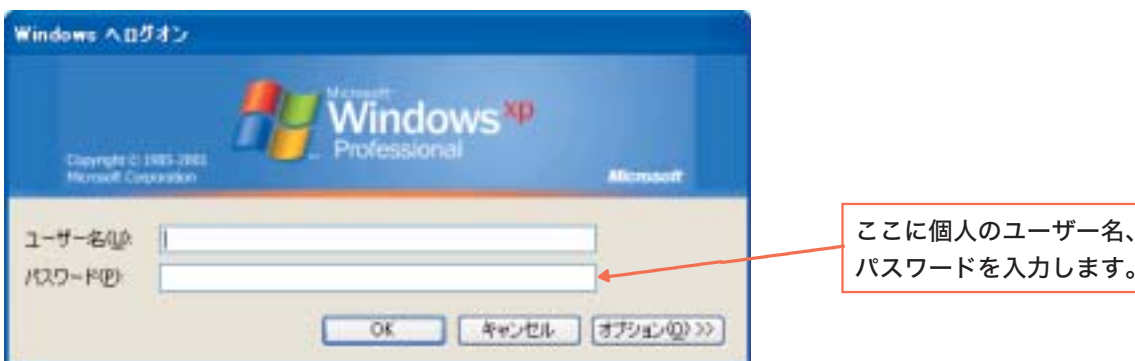


図1 Windowsヘログオン画面

4 おわりに

この説明で少しでも個人認証について理解していただけたでしょうか。不明な点については気軽にパソコン相談室まで問い合わせてください。



E-Learningシステム(WebCT)の利用について



1. WebCTとは

WebCTはカナダ ブリティッシュコロンビア大学で開発され、81カ国2600を超える高等教育機関で利用されているE-Learningシステムです。WebCTを利用する講義は、学内からだけでなくインターネットに接続された自宅のPCからも講義資料の参照や課題の提出、オンラインでのテストの受験や先生への質問ができるようになります。

2. WebCTの利用方法

講義でWebCTを利用する場合は担当教員から説明があります。学内から利用する場合は

<http://webct.nagoya-wu.ac.jp/>

学外から利用する場合は

<https://webct.nagoya-wu.ac.jp/>

へアクセスしてください。**sが一つ余分につきます!**

上記URLにアクセスするとエントリーページが表示されるので「ログイン」をクリックします。(図1)

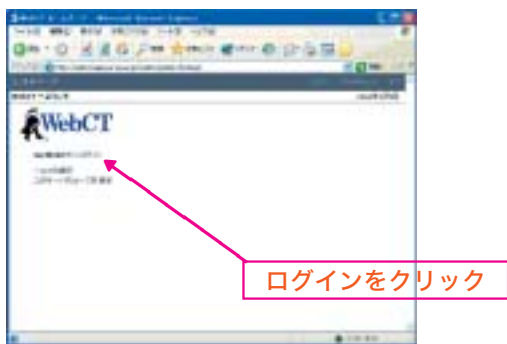


図1

WebCTを利用するためにはWebCT IDとパスワードが必要です。これらは演習室を利用するユーザー名及びパスワードと同じですので、WebCT IDとパスワードを入力しログインをクリックしてください。(図2)

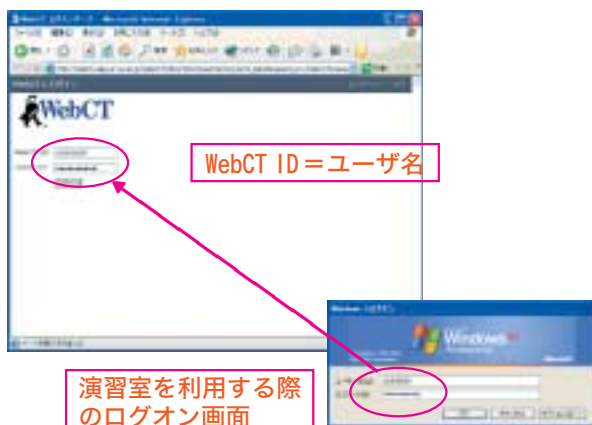


図2

3. WebCTの機能

myWebCTと呼ばれる利用可能なコース一覧から目的のコースを選択します。ここではサンプルコース(図3)を例に主な機能を紹介します。授業によっては画面構成、各機能の名称が異なっている場合があります。また全ての機能が利用されるとは限りませんし、授業によっては利用しない機能もあります。



図3

《主な機能》

- ①シラバス
講義のシラバス(講義要覧)が見れます。
- ②カレンダー
講義に関する予定がアナウンスされます。
- ③講義資料
講義で利用する資料が確認できます。
- ④掲示板
先生からの連絡が掲示されたり、資料に関する質問や議論ができます。
- ⑤テスト
オンラインでテストが受験できます。
- ⑥レポート
オンラインでレポートが提出できます。
- ⑦成績表
自分が受けたテストや課題の成績が確認できます。
- ⑧学習記録
このコースについての利用履歴が確認できます。

4. サポート

利用について不明な点やトラブルについては以下までお気軽にご相談ください。

学術情報センターWebCT担当
<webct@nagoya-wu.ac.jp>

◆新学科開設に伴い、福祉・保育関係の資料が充実しました◆

平成16年度末までで、福祉関係の資料が約570点、保育関係の資料が約500点新たに汐路に加わりました。



「ボランティア・テキストシリーズ」 請求記号[※]: 369/1381/1～

福祉施設や病院など、様々な場でボランティア活動は活発です。名古屋女子大学でも、ボランティアサークル「ボランティア・スピリッツ」が活躍しています。福祉教育の場でも、ボランティア学習を取り入れている学校もあります。

そんなボランティア活動を多方面から紹介しているシリーズです。ボランティアに興味のある人はぜひ読んでみてください。

「人体」 DVD 請求記号: 491/2019/1～6

「赤ちゃんこのすばらしき生命」 ビデオ 請求記号: 491/2018

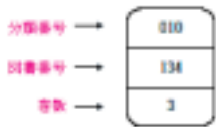
人は選り抜かれて生まれてくるということ。また、その神秘的な体の仕組みについて分かりやすく解説してくれるDVDとビデオです。

保育者を目指す人はもちろん、自分を見つめ直すのにも良い作品です。



この他にも、以下の分類番号に福祉・保育関係の資料があります。

	【分類番号】		【分類番号】
老人問題	367.6	幼児教育	376～376.15
社会福祉	369～369.4	母子栄養・小児科学	493.9
老人介護	492.9	絵本	E

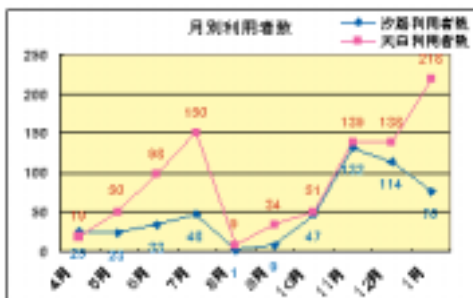


※請求記号とは資料の背に貼ってある3段ラベルの番号です。ホームページから蔵書検索した時は、この番号を手掛かりに書架を探してください。1段目は分類番号。「日本十進分類法」という決まりに基づいて主題ごとに決まっています。自分の求めるテーマや自分の興味のある分野の番号を覚えておくとう便利です。2段目は図書番号といい、分類番号の中はこの図書番号順に並んでいます。さらに全集など、巻数があれば3段目に巻数が入っています。

◆ライブラリー館内でのノートパソコン貸出利用状況◆

1. 利用状況

平成16年4月から平成17年1月末までのライブラリー館内でのノートパソコンの利用状況です。



後期になり、両センターとも大変多くの学生が利用しています。また、利用者からの質問はノートPC質問コーナーで回答しています。

2. ノートPC質問コーナーについて

ノートパソコンのホームページ (<http://libweb.nagoya-wu.ac.jp/notepc/top.html>) に“アンケート”があります。そこに寄せられた質問や要望の回答を“ノートPC質問コーナー”で公開しています。わからないことがあった時は、参考にしてください。掲載されている内容以外の質問や要望があれば、



アンケートに入力し送信してください。また、平成17年度からは多言語対応のパソコンがライブラリー内に設置されます。そちらもどうぞご利用ください。

Information お知らせ Information

■学術情報センター 平成17年度からの変更点

演習室・自習室・ライブラリーの利用時間とライブラリーサービスの貸出期間が変更になりました。

利用時間

	平日（月～金）	土曜日
コンピュータ共同利用演習室 自習室 パソコン相談室	8:50-21:00	9:00-17:00
ライブラリー開館時間 汐路	8:30-21:00	9:00-17:00
天白	8:30-21:00	9:00-13:00

貸出期間（対象：学生）

	冊数	貸出期間
図書	7冊	14日間
	延長：貸出期限内の手続きで、予約がなければ一週間継続可能	

大学院生と教職員の貸出日数に変更はありません。

■ライブラリーサービス講習会のご案内

ライブラリーサービスでは、図書館をフルに活用してもらうための各種講習会を行っています。

新入生の皆さんには、ライブラリーホームページからの本の探し方や館内ツアーを行い、初歩的な図書館の使い方を説明しています。詳しい日程については後日お知らせしますので、必ず参加してください。

ゼミ生及び大学院生の皆さんには、各研究内容にあわせた文献収集の方法を説明しています。随時受付けていますので、希望されるゼミ生及び大学院生の方はライブラリーカウンターまでお申し込みください。



■アンケートにご協力ください

学術情報センターだよりをみなさんに大いに活用していただくため、また、みなさんのご要望にお答えできるような学術情報センターだよりを発行していくために、みなさんにご意見を伺いたいと思います。折込のアンケート用紙に記入していただき、回収箱へ投函してください。回収箱設置期限は2005年4月28日までです。

回収箱の設置場所：汐路学舎 学生支援センター前、ライブラリー内
天白学舎 2号館入口、ライブラリー内

名古屋女子大学 学術情報センターだより 第45号 発行日：平成17年4月1日

発行：名古屋女子大学学術情報センター
〒467-8610 名古屋市瑞穂区汐路町3-40

●ライブラリーサービス TEL (052) 852-9768
●システムサービス TEL (052) 852-1120